

「日本デザイン賞」入選

高松オルネとTX駅商業施設

商業施設や文化施設、イベント空間の企画、設計、施工などを手掛けるスペース（東京都中央区）が内装設計、リーシングなどを手掛けたJR四国の高松駅ビル「TAKAMATSU ORNE」（タカマツ オルネ）と、つくばエクスプレス（TX）流山おおたかの森駅直結商業施設「TXグランドアベニューおおたかの森」が、「第58回日本サインデザイン賞」に入選した。タカマツ オルネは四国地区デザイン賞も受賞した。

内装デザインを担当したタカマツ
オルネ内「shikokumeguru」（シコク メグル）

同賞は、1966年に制定されたサインデザインに関する日本唯一の顕彰事業。優れたサインデザイン作品を広く社会にアピールすることにより、「人・もの・場所をつなぐ『点と線』」をコンセプトに、四国4県と本州をつなぐハブとなる施設をつないで「人・もの・場所をつなぐハブとなる施設」を目指した。施設全体に

香川県特産のオリーブにより、サインデザインの普及・啓発を図る。応募337作品中、150作品が入賞・入選した。このうち四国地区デザイン賞は2作品（タカマツ オルネを含む）。

スペースはタカマツオルネのデザインに当たった。アート作品の企画・制作監修を行うなど、産学連携にも取り組んだ。

内装設計など「スペース」担当



「TXグランドアベニューおおたかの森」の内部空間
Photography by Satoru Umetsu Nacasa & Partners Inc.

携

き未来について、向かうべき関係性、

さまざまな現場で使

用される廃棄予定だった足場板はテーブルやいすに、内装解体や什器（じゅうき）製作過程で出た廃棄木材はウッドションデリ

アや壁面アートに活用した。

また、香川短期大学との協働で、工事現場の見学会や海ごみを活用した。アート作品の企画・制作贈賞式は12月4日に行